

## 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

## (4) 農業金融トレーニー制度の開始について

農林中央金庫福島支店（福島県）

新規	継続
○	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	<p>担い手の大規模化・多様化が進展し、それぞれの課題やニーズも複雑化しているなか、JAバンクは農業専門の金融機関として、的確なソリューションを提供することにより、担い手の成長をサポートしていくことを目指しています。</p> <p>農林中金福島支店では、JAから職員を受け入れ、とりわけ農業融資への対応力・提案力強化を図ることを目的に、平成 28 年度より「農業金融トレーニー制度」を開始しました。</p>
2 概要	<p>平成 28 年度は、トレーニー制度の第一号として、JA福島さくら融資部から、農業金融に関する各種相談対応から融資提案まで、これまで以上のサービスを提供できるよう職員のレベルアップを図るための職員受入を実施しました。</p> <p>トレーニーは、研修期間中、農業融資に関する知識習得のほか、農林中金職員同行のもと、担い手訪問活動を通じた情報収集、JAプロパー資金や制度資金（公庫資金含む）等、ニーズに沿った借入提案、案件獲得・資金実行といった一連の流れを経験しました。</p>
3 成果 (効果)	<p>トレーニーは経験を通じ、農業金融の知識・提案スキル等が大幅にアップしました。また、トレーニー終了後は、JA管内の大規模肉牛肥育経営の農業法人に対しABLを活用した制度資金対応を提案するなど、農業者のニーズを踏まえた円滑な金融対応に貢献しています。</p>
4 今後の予定 (課題)	<p>JAの農業金融を担う中核的人材育成に向けて、今後もトレーニー制度は継続します。専門的な知識の積み上げを図りつつ、JA・農林中金とのネットワークを活用した金融サービスの拡充を行っていきます。</p>



金庫職員と打合せするトレーニー